

多言語による高校進学ガイダンスの有効性

—ロールモデルと高校ブース設置による波及効果—

<研究代表者>

萩原 孝恵 山梨県立大学 国際政策学部

<共同研究者>

池田 充裕 山梨県立大学 人間福祉学部

斉藤 祐美 山梨外国人 인권 ネットワーク・オアシス

小林 信子 ユニタス日本語学校

原田 かおり やまなし子ども学習支援連絡協議会、山梨県立大学非常勤講師

川手 ちなみ ソルデアミーゴ太陽の友だち

1. 背景と目的

文部科学省が発表している平成 30 年度の高等学校等への進学率は 98.8%（山梨県は 98.7%）と、ほぼ全員が高校に進学する時代になっている（「学校基本調査—平成 30 年度結果の概要—」）。しかし、『外国人の子ども白書』の中で宮島（2017:133）が提示している「外国人中高在籍者数の推移」は、100%に近い進学率とは相反するものである。高校に在籍する外国人数（B）は、中学校に在籍する外国人数（A）の約 2 分の 1（B/A）と低く、こうした傾向は、2005 年から 2015 年までの 10 年間、変化していない。宮島（2017）の当該結果は、高校進学の高難しさと、入学後の困難さを示唆している。

表 外国人中高在籍者数の推移（『外国人の子ども白書』宮島 2017:133 表）

	2005 年度	2010 年度	2015 年度
日本の中学校に在籍する外国人 A	20,404	23,276	22,281
日本の高校に在籍する外国人 B	11,956	12,338	12,979
B/A	0.59	0.53	0.58

本プロジェクトでは、「高校進学ガイダンス」を通して、保護者には日本の教育制度への理解を促し、子どもたちにはロールモデルや高校生と実際に話すことで自身のキャリア形成につなげられるよう、次の 2 つの教育支援に取り組んだ。

2. キャリアパスにつなげる教育支援

(1) 多言語による高校進学ガイダンスの継続開催

外国人保護者のための取り組みで、山梨県の高校入試（入試制度、特例措置、補助金、通訳の申請等）について、母語で正しく理解し、子どもの将来（進路進学）を一緒に考えたり話し合ったりできるようになるための支援

【開催日、参加者につなぐのある国、参加者数】

①2018.7.8：中国 2、ブラジル 6、ペルー3、見学者 4、計 15 人

②2018.11.4：中国 5、日本 1、フィリピン 2、ブラジル 8、ペルー2、見学者 7、計 25 人

【使用言語】日本語、中国語、ポルトガル語、スペイン語、英語

(2) ロールモデルや高校生と直接話す機会の提供

ロールモデルと話したり、高校生とのインタラクションを通じて、本人が高校進学的重要性を理解し、高校卒業後の自身の将来を想像できるようになるための支援

3. プロジェクトの改善と発展に向けた学び

(1) 他県で開催されているガイダンスの見学

- ①東京：「2018年日本語を母語としない親子のための多言語高校進学ガイダンス」見学（東洋大学白山キャンパス、2018.7.1）
- ②長野：「日本語を母語としない子供と親のための高校進学ガイダンス 2018」見学（安曇野市豊科公民館、2018.9.9）
- ③神奈川：「日本語を母語としない人たちのための高校進学ガイダンス 2018 in かながわ」見学（ひらつか市民活動センター、2018.10.14）

(2) 「子どもの日本語教育研究会・第3回ワークショップ in 山梨」の開催

「集い・語り・学ぶ」をコンセプトとして、進路支援・キャリア支援をテーマとしたパネル・ディスカッション、実践を言語化するジャーナルの書き方を学ぶランチセミナー、「つたわる日本語」について考えるワークショップが開催され、全国から80名弱の参加者が集まり、語り合い、共に学んだ（本学サテライト教室、2018.8.18）。

4. 「＜山梨県＞多言語による高校進学ガイダンス」冊子の作成

他県のガイダンス見学を通して、「多言語による高校進学ガイダンス」（日本語、英語、韓国語、スペイン語、中国語、ベトナム語、ポルトガル語）の山梨版の作成に取り組む。

5. 波及効果

- 山梨県の高校入試制度に関して母語で理解することのできる場を外国人保護者に提供することによって、それが子どもたちのキャリア形成支援にもつながっていく。
- ガイダンス参加後、学習態度に変化が現れる子どもがいる。
- ガイダンスへの参加は、ロールモデルや高校生にとっても自己肯定や自己実現に向かうきっかけとなる。
- ガイダンスの開催は単なる教育支援に留まらず、山梨県の5年後10年後の雇用創出・地域の治安維持へとつながっていく。

<後援>

山梨県教育委員会、甲府市教育委員会、中央市教育委員会、笛吹市教育委員会、南アルプス市教育委員会、山梨県国際交流協会

<ご協力いただいた先生方> *敬称略、順不同

土屋賢一郎（甲府市立東中学校）、今澤悌（甲府市立大田小学校、日本語指導センター校）、細田千代美（甲府市立城南中学校）、清田礼子（甲府市立東中学校）、有賀恵（甲府市立東中学校）

<ご協力いただいた通訳者の方々> *敬称略、言語別

- ・ポルトガル語：安達研二、北島千鶴
- ・スペイン語：塚田寛、パチェコ・アレクシス
- ・英語：安田弘子
- ・中国語：白浜芳敏

◆このほか、多くの方々にご協力いただきました。この場を借りてお礼を申し上げます。